

## 4) 専門科目群

専門科目群は、共通専門科目、政治学系、法律学系、経済学系、経営学系、社会学系、情報学系、その他および公務員・社会教育主事・演習科目（表5）からなっている。

専門科目の履修条件については、表5の備考欄を参照のこと。

表5 専門科目群

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	履修形 態	備考
		必修	選択	春学期	秋学期			
<b>共通専門科目</b>								
POL-100	政治学	4		◎	◎	1～		オムニバス
ECO-100	経済学	4		◎	◎	1～		
FYE-100	基礎教育入門（書き方）	1		○	○	1～		
FYE-100	社会への扉を開く		2	○		1～		
FUL-100	法学		4	◎	◎	1～		
SOC-100	社会学		4	◎		1～		
MAN-100	経営学		4	◎	◎	1～		
THI-100	情報学		4	◎		1～		
INR-100	平和学		4		◎	1～		
CLD-100	まちづくり学		4	◎		1～		
<b>政治学系</b>								
POL-200	政治学方法論		2	○		1～		※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
POL-200	行政学A		2	○		1～		
POL-200	行政学B		2		○			
POL-200	地方自治論		2	○		2～		
POL-200	日本政治史A		2	○		2～		
POL-200	日本政治史B		2	○		2～		
POL-200	西洋政治思想史A		2	○		2～		
POL-200	西洋政治思想史B		2		○	2～		
POL-300	日本政治思想史A		2	○		3～		
POL-300	日本政治思想史B		2		○	3～		
POL-300	比較政治学		2		○	2～		
POL-300	公共政策論		2		○	2～		
POL-300	環境政策論		2	○		2～		
POL-400	政治哲学		2	○		2～		
POL-400	埼玉地域政策研究		2		*	4～	院開設科目	
PHE-100	倫理学概論		2	○		1～	※	
INR-200	国際政治学		4	◎		1～		
INR-200	開発学A		2	○		2～		
INR-200	開発学B		2		○	2～		
INR-200	国際機構論		2		○	2～		
INR-300	グローバル市民社会論		2	○		2～		
ARS-300	アジア地域研究A		2	○		2～		
ARS-300	アジア地域研究B		2		○	2～		
ARS-300	北米地域研究		2	○		2～		
ARS-300	欧州地域研究		2		○	2～		
ARS-300	アフリカ地域研究		2	○		2～		

備考欄※印：隔年開講

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	授業形態 講義/演習	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
		必修	選択	春学期	秋学期			
<b>法学系</b>								
PUL-200	憲法		4		◎	1～		
ILA-200	国際法A		2	○		1～		
ILA-200	国際法B		2		○	1～		
ILA-300	国際人権法		2		○	1～		
ILA-300	武力紛争法		2		○	1～		
PUL-200	行政法A		2	○		1～		
PUL-200	行政法B		2	○		1～		
SOL-300	経済法		2		○	1～		※
SOL-300	労働法		2		○	1～		
NFL-300	環境法		2	○		1～		※
NFL-300	シエンダー法		2		○	1～		
CIL-300	商法		2	○		2～		
CIL-300	会社法		2	○		2～		
CIL-300	金融商品取引法		2	○		2～		
CIL-200	民法A		2		○	1～		
CIL-200	民法B		2		○	1～		
<b>経済学系</b>								
ECT-200	ミクロ経済学		4		◎	1～		
ECT-200	マクロ経済学		4		◎	1～		
ECT-200	経済思想史		4		◎	1～		
EDE-300	日本経済論		4		◎	2～		
ECP-300	国際経済論A		2	○		2～		
ECP-300	国際経済論B		2		○	2～		
ECP-300	経済政策A		2	○		2～		
ECP-300	経済政策B		2		○	2～		
PFP-200	社会保障論A		2	○		1～		
PFP-200	社会保障論B		2		○	1～		
PFP-200	財政学		4		◎	1～		
PFP-300	地方財政		2	○		2～		
PFP-300	労働経済論A		2	○		2～		※
PFP-300	労働経済論B		2		○	2～		※
PFP-300	地域経済論		2		○	2～		
MOF-200	金融論		4		◎	1～		
ECH-200	経済史		2		○	1～		※

備考欄※印：隔年開講

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	履修形 態 制限	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
		必修	選択	春学期	秋学期			
<b>経営学系</b>								
MAN-200	経営管理		4	◎		1～		
MAN-200	経営倫理		2	○		1～		
MAN-200	組織行動論		4	◎		1～		
MOF-300	コーポレート・ファイナンス		2		○	2～		
MOF-200	パーソナル・ファイナンス		2	○		1～		
MAN-300	異文化マネジメント		4	◎		2～		※
MAN-300	マーケティング論		4		◎	2～		
ACC-200	会計学A		2		○	1～		※
ACC-200	会計学B		2		○	1～		※
ACC-200	簿記		4	◎	◎	1～		
MAN-300	経営史		4		◎	2～		
MAN-400	国際ビジネスの現場A		2	○		2～		} オムニバス、 人数制限50名
MAN-400	国際ビジネスの現場B		2		○	2～		
MAN-400	International Business		4		◎	2～		※、英語による開講科目
MAN-300	ベンチャー・ビジネス論		2		○	2～		
MAN-300	コミュニティ・ビジネス論		2		○	2～		※
MAN-300	中小企業論		2		○	2～		
CAE-200	ビジネス実務		4	◎		2～		人数制限40名
CAE-200	秘書学概論		4	◎	◎	1～		人数制限50名
<b>社会学系</b>								
EAE-100	環境学		4	○		1～		
GDE-200	ジェンダー論		4		◎	1～		
POL-200	社会政策論		4	◎		1～		※
SOC-100	情報と社会		4		◎	1～		
SOC-200	現代社会学		4	◎		1～		
SOC-100	地域社会学		4		◎	1～		
SOC-200	家族社会学		4		◎	2～		
SOC-300	理論社会学		4	◎		1～		
SOC-300	コミュニケーション学		4		◎	1～		※
SOC-300	NPO・NGO論		4		◎	1～		
SWS-100	ボランティア概論		2		○	1～		
SWS-300	貧困に対する支援		2		○	1～		
SOP-300	社会心理学		2		◎	2～		
<b>情報学系</b>								
THI-200	情報処理		4	◎		2～		※、人数制限30名
LIH-200	情報倫理		4		◎	1～		
LIH-200	デジタルメディア論		4		◎	2～		
LIH-200	法政情報論		4	◎		2～		人数制限30名
LIH-200	情報メディア史		2	○		2～		
LIH-300	情報システム論		4		◎	2～		※
LIH-300	情報通信ネットワーク論		4	◎		2～		
LIH-300	社会科学とプログラミング		4		◎	2～		人数制限30名
LIH-400	社会情報論		2	○		2～		
LIH-200	図書館情報技術論		2	○		2～		
LIH-200	情報サービス論		2	○		2～		
LIH-200	情報サービス演習A		1	○	○	2～	演習	人数制限40名
LIH-200	情報サービス演習B		1	○	○	2～	演習	
COS-200	デジタルコミュニケーション		2	○		1～		
SOF-200	情報応用実践		2		○	1～		人数制限30名
SOF-200	プレゼンテーション技法		2		○	1～		

備考欄★印：別表「開講科目一覧」参照

備考欄※印：隔年開講

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	履修形 態	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
		必修	選択	春学期	秋学期			
<b>その他</b>								
IND-300	インディペンデント・スタディA		4			2～		
IND-300	インディペンデント・スタディB		2			2～		
IND-300	インディペンデント・スタディC		1			2～		
IND-300	インディペンデント・スタディD		1			2～		
POL-400	政治経済学特論A		2				演習	★
POL-400	政治経済学特論B		4				演習	★
POL-400	政治経済学特講		2				演習	★
POL-400	政治経済学特講A		1				演習	★
POL-400	政治経済学特講B		1				演習	★
<b>公務員</b>								
CAE-100	公務員講座（文章理解）		4		◎	1～		人数制限40名
CAE-100	公務員講座（判断推理）		4	◎		1～		
CAE-100	公務員講座（数的推理・資料解釈）		4		◎	1～		
CAE-200	公務員講座（人文科学）		4		◎	1～		
CAE-200	公務員講座（社会科学）		4	◎		1～		
CAE-200	公務員講座（自然科学）		4	◎		1～		
CAE-300	公務員特講（自治体研究A）		2	○		2～		
CAE-300	公務員特講（自治体研究B）		2		○	2～		
CAE-300	公務員演習A		1	○		2～	演習	
CAE-300	公務員演習B		1		○	2～	演習	
CAE-400	公務員講座（専門A）		4	◎		2～		オムニバス
CAE-400	公務員講座（専門B）		4		◎	2～		オムニバス
<b>社会教育主事</b>								
EDU-200	生涯学習概論A		2	○		2～		
EDU-200	生涯学習概論B		2		○	2～		
EDU-200	生涯学習支援論A		2	○		2～		
EDU-200	生涯学習支援論B		2		○	2～		
EDU-200	社会教育経営論A		2	○		2～		
EDU-200	社会教育経営論B		2		○	2～		
EDU-300	社会教育実習		2	*		3～	実習	
EDU-200	社会教育課題研究A		2	○		2～		
EDU-200	社会教育課題研究B		2		○	2～		
EDU-200	現代社会と社会教育A		2	○		2～		
EDU-200	現代社会と社会教育B		2		○	2～		
EDU-200	地域社会教育論A		2		○	2～		※
EDU-200	地域社会教育論B		2		○	2～		※
<b>演習科目</b>								
FYE-100	予備演習A		1		○		1	演習
FYE-100	予備演習B		1			○	1	演習
SEM-200	専門演習A		1		○		2	演習
SEM-200	専門演習B		1			○	2	演習
SEM-300	卒業研究I		1		○		3	演習
SEM-300	卒業研究II		1			○	3	演習
THE-400	卒業論文		6				4	

備考欄★印：別表「開講科目一覧」参照

備考欄※印：隔年開講

### 【別表】専門科目群〔政治経済学特論・政治経済学特講〕開講科目一覧

〔政治経済学特論〕は、全学年を対象とし、将来大学院進学・留学等を考えている学生、関心のある学問領域をより深く研究したいという学生等向けに、少人数・演習形式で行われる。

〔政治経済学特講〕は、3年次以上を対象とし、外国語文献の読解力を伸ばしたいという学生、関心のある学問領域をより深く研究したいという学生等向けに、学科の専任教員により少人数・演習形式で行われる。

いずれも定員制のため各担当教員の判断によって受講者の選抜が行われる。選抜方法・基準等については、各担当教員に直接問い合わせるか、シラバス・掲示板等を参照すること。

別表 専門科目群（政治経済学持論・政治経済学特講）

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	履修形態 履修回数	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期							
その他												
LAW-400	政治経済学持論A（20世紀の法文化）		2		○	2～				●	●	●
LAW-400	政治経済学持論A（日本の裁判を考える）		2	○		2～		人数制限15名		●	●	●
SOCL-P-400	政治経済学持論A（理論社会学）		2		○	1～				●	●	●
SOCL-P-400	政治経済学持論A（現代社会論）		2	○		1～				●	●	●
SOCL-P-100	政治経済学持論A（日本の社会を考える）		2		○	1～				●	●	●
POSC-P-400	政治経済学特講（平和学）		2		○	3～				●	●	●
LAW-P-400	政治経済学特講（法学）		2	○		3～		人数制限15名		●	●	●

## 1. 演習科目について

演習科目は、予備演習A・B、専門演習A・B、卒業研究Ⅰ・Ⅱからなる。予備演習A・B、専門演習A・B、卒業研究Ⅰ・Ⅱは必修科目である。

- ① 専門演習Aは必ず事前登録を行わなければならない。履修するための事前登録の日時や選考方法については、履修すべき学期の前に掲示される。
- ② 卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修するには、原則として、同一担当者の専門演習A・Bの単位を修得していなければならない。

## 2. 卒業論文について

卒業論文は、卒業研究の単位を修得した者が、指導教員の個別指導を受け、一定水準以上の論文を提出した場合6単位与えられる制度である。

- ① 卒業論文を執筆するには、以下の単位を修得しなければならない。  
専門演習A・B、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
- ② 卒業論文の執筆を希望する学生は、指定期間に所定の方法にて教育支援課に願ひ出ること。卒業論文登録の機会には、4年次春学期、4年次秋学期の合計2回ある。いずれかの機会に必ず登録をすること。指定期間に卒業論文の登録をしないと単位は認定されないの注意すること。
- ③ 卒業論文は、所定の期間（卒業見込学期の13週目）に教育支援課に提出しなければならない。（ただし、提出締切日が休日の場合はその翌日、土曜日の場合は翌週月曜日までとする。）

## 3. 卒業見込証明書の交付について

卒業見込証明書の発行を請求するには、3年次修了時点において在学期間（注1）が6セメスター以上（2年次編入生は4セメスター以上、3年次編入生は2セメスター以上）で、総修得単位数76単位以上でなければならない。

（注1）休学期間は在学期間に含まない。